

株式のご案内

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月開催
基準日 定時株主総会：毎年3月31日
 期末配当金：毎年3月31日
 中間配当金：毎年9月30日
 その他必要があるときは、あらかじめ公告して
 定めた日
単元株式数 100株
証券コード 1909
公告の方法 電子公告の方法により、当社ホームページに
 掲載いたします。
 (http://www.ndc-group.co.jp/)
 ただし、事故等やむを得ない事由によって電
 子公告による公告が行えない場合は、日本経
 済新聞に掲載いたします。

株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

・証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届
 出およびご照会は、口座のある証券会社あてにお願いいたします。
 ・証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照
 会先にご連絡ください。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先 〒168-0063
 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先 フリーダイヤル 0120-782-031
 (平日9:00~17:00/土日祝除く)



NDC 日本ドライケミカル株式会社
 〒135-0091 東京都港区台場2-3-1 トレードピアお台場
 http://www.ndc-group.co.jp/

COMPANY PROFILE

会社概要 (平成29年3月31日現在)

商号 日本ドライケミカル株式会社
 (Nippon Dry-Chemical CO., LTD.)
代表者 代表取締役社長 遠山 榮一
設立 昭和30年4月23日
資本金 700百万円
従業員数 656名/グループ総数728名

役員体制 (平成29年6月23日現在)

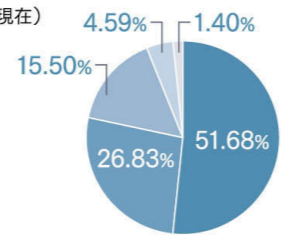
役員	代表取締役社長	遠山 榮一
	常務取締役	長谷 哲之
	取締役	浅田 裕沖
	取締役	佐藤 寛則
	取締役	高木 進
	取締役	亀井 正文
	社外取締役	櫻井 俊明
	常勤監査役	内村 滋樹
	社外監査役	後出 大
	社外監査役	渡慶次 憲彦

※取締役 櫻井俊明氏は会社法に定める社外取締役です。
 ※監査役 後出大氏ならびに渡慶次憲彦氏は会社法に定める社外監査役です。

株式の状況 (平成29年3月31日現在)

発行可能株式総数 14,000,000株
 発行済株式総数 3,590,906株
株主数 2,785名

■国内法人1,855,800株
 ■個人・その他963,327株
 ■金融機関・証券会社556,485株
 ■外国人等164,982株
 ■自己株式50,312株



株主名	所有株数(株)	持株比率(%)
総合警備保障株式会社	550,000	15.53
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	243,000	6.86
日本ドライケミカル取引先持株会	111,800	3.16
株式会社初田製作所	100,000	2.82
新日本空調株式会社	96,000	2.71
沖電気工業株式会社	89,000	2.51
株式会社吉谷機械製作所	80,000	2.26
KBL EPB S.A. 107704	78,400	2.21
株式会社東京エネシス	70,000	1.98
堀江 豊	70,000	1.98

※特殊比率は自己株式(50,312株)を控除して計算しております。

NEWS & TOPICS

ニュース&トピックス

ふくしまものづくり企業交流会

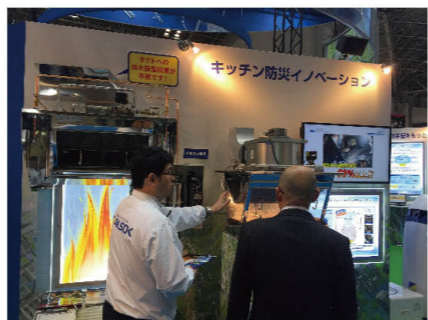
平成29年2月2日、福島市で開催された「ふくしまのものづくり企業交流会」に参加しました。基調講演では遠山社長が登壇。平成28年5月から本格稼働している福島工場の概要や今後の方針説明に加え、新製品の「Easyサーモワイヤー」や「デモンストレーション車輛」を紹介しました。また、当社の消火器の展示や、地元企業とのビジネスマッチングなども行いました。



遠山社長による基調講演の様子

SECURITY SHOW 2017

平成29年3月7日~10日、東京ビッグサイトで開催された第25回セキュリティ・安全管理総合展「SECURITY SHOW 2017」は、約13万人が来場する盛況ぶりでした。当社もALSOKブースのキッチン防災イノベーションにて、ダクト火災を



昨今増加しているダクト火災対策として注目の製品

未然に防ぐ「NDC ぶくぶくジェット」を展示。“セキュリティと防災”をコンセプトに、ALSOKとの協業推進を広く伝えることができました。

SHAREHOLDER CORRESPONDENCE



操作性・積載量の増加、高い消火性能、環境負荷の低減を実現したデモンストレーション車輛と共に、福島県の復興シンボルキャラクター「キビタン」とコラボレートしました。

代表取締役社長
遠山 榮一



株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社の属する防災業界におきましては、民間設備投資は東京オリンピック・パラリンピックを背景に堅調に推移すると見込まれているものの、一方で国内労働市場の逼迫感は広がってきており、なお、先行きへの懸念は払拭できませんが、政府が打ち出すアベノミクスの一環としての景気刺激策のもと、消費マインドの改善とともに、総需要の底上げによる景気浮揚への期待感膨らんでいるようにも見受けられます。

このような事業環境のもと、当社は引き続き、総合防災企業としての立ち位置を強化しつつ、積極的な営業活動を推進してまいりました。

総合防災企業として 次なるステージへ

現在、日本国内において、自火報設備*から消火設備、消火器そして消防自動車まで、防災のすべてをお客さまにご提供しているのは当社だけです。まさに総合防災企業としての地歩は確固たるものとなりました。

さらなる躍進を目指し、平成28年5月に福島工場が本格稼働しました。総合防災研究棟では、次世代の防災製品・システムの研究開発を進めております。また、製造棟では、当社オリジナルの製品である地図式受信機の増産に対応。新製品「Easyサーモワイヤー」への期待も高く、今後、国内はもとより海外市場においても展開を予定しております。

また、平成28年10月に自火報設備メーカーとして長い歴史を有する子会社のヒューセックを吸収合併し、自火報設備を含めた防災のすべてを一括提案できる体制を整えました。

アライアンスの強化を推進

少子高齢化が急速に進んでいる日本において、防犯と防災は上質な社会インフラを構築するための要です。当社は、平成28年2月にALSOKと資本業務提携契約を締結しており、お客さまそしてコミュニティにワンストップでの安心・安全のソリューションを提供することが可能になりました。

また、沖電気工業との協業では、防災機器のIoT化を推し進め、ICタグ貼付により個体管理が可能となった新概念の消火器「スマートエクステン」を、平成28年8月から販売開始しています。

今後もアライアンスの強化を図り、既存概念にとらわれない製品開発と提案型の営業を推進し、総合防災企業としてより安心・安全な社会インフラの構築に貢献することを目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも当社の発展にご期待いただき、引き続きご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

※自動火災報知設備

第65期 株主通信

平成28年4月1日~平成29年3月31日

NDC 日本ドライケミカル株式会社

証券コード 1909

FEATURE



HOUSE



防災用品

常備しておきたい、
災害時に役立つ一式。

住宅用火災警報器

火災時の
逃げ遅れを防ぐ効果は大！



住宅用消火器具

家庭内で多い、キッチンやストーブ火災の
初期消火に適しています。

くらしに密着した 日本ドライケミカル



CITY



消防自動車

最新技術を結集して
個々のニーズにお応えします。

各種消火器

使用箇所に応じた
多様なラインナップ。

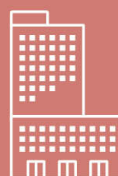


避難器具

火災時、上階からの
脱出を助けます。

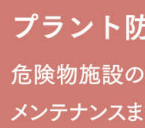


AREA



建築防災設備

高層オフィスビルからトンネルまで、
施設にあわせた最新の防災システムを提供。



プラント防災設備

危険物施設の計画段階から、設計・施工、
メンテナンスまで一貫して行います。



船舶防災設備

孤立無援の海上火災に備えた防災
システムを、あらゆる船舶に提供しています。

家庭の防災から、オフィスやプラントの防災設備まで。総合防災企業として半世紀以上の実績をもつ当社の防災機器・システムは、日々のくらしのさまざまな場面で、皆様の生命・財産をお守りしています。

COLUMN

- 社員が語るNDC -



千葉製造部
車輛製造1課
河崎明彦
2009年入社

消防車など特殊車輛の製造を通して、 人命救助に貢献できることが仕事の醍醐味

日本ドライケミカル千葉工場は、九十九里浜に近い千葉県山武市にあります。所属する部署では、特殊車輛の製造過程の中でも、水ポンプや油圧配管などの艱装を専門としています。「特殊車輛」には、消防車やレッカー車などがあり、さらに車輛サイズや積載する機材も多種多様です。消防車の製造でも1台ごとに仕様が異なるので、それぞれに別の工程を組まなければならない、そこが仕事において苦労する点です。

しかし、ものづくりを通して人命救助に貢献できる現在の仕事には、とてもやりがいを感じています。

これからも他社に真似のできない、高品質・高性能な車輛の製造を目指して、技術や知識をさらに身につけていきたいと考えています。

所有する資格は「有機溶剤作業主任者」「フォークリフト運転技能講習」「玉掛け技能講習」「クレーン特別教育」など。継続的に技術と知識の向上に努めている。



ABOUT PERFORMANCE

平成29年3月期 連結決算概要

連結貸借対照表

(単位:千円)

	前期末 平成28年3月31日現在	当期末 平成29年3月31日現在
資産の部		
流動資産	18,216,594	17,034,476
固定資産	7,330,422	7,286,282
有形固定資産	4,368,282	4,441,642
無形固定資産	1,713,454	1,537,093
投資その他の資産	1,248,685	1,307,545
資産合計	25,547,016	24,320,758
負債の部		
流動負債	12,413,893	11,176,471
固定負債	3,232,656	2,632,083
負債合計	15,646,549	13,808,554
純資産の部		
株主資本	9,886,690	10,386,825
資本金	700,549	700,549
資本剰余金	3,620,607	3,620,607
利益剰余金	5,565,838	6,181,807
自己株式	△ 304	△ 116,139
その他の包括利益累計額	13,775	125,378
純資産合計	9,900,466	10,512,204
負債純資産合計	25,547,016	24,320,758

自己資本比率(連結)

38.8% 43.2%

POINT

当期の財政状態は、売上債権の回収が進んだこと、借入金の返済等により総資産が前期末比1,226百万円減少し、当連結会計年度末の資産合計は24,320百万円となりました。また、当連結会計年度の営業活動によるキャッシュ・フローは2,172百万円の収入となり、フリー・キャッシュフローは1,895百万円となりました。

連結損益計算書

(単位:千円)

	前期(累計) 自平成27年4月1日 至平成28年3月31日	当期(累計) 自平成28年4月1日 至平成29年3月31日
売上高	33,797,435	30,919,054
売上原価	26,461,528	24,340,584
売上総利益	7,335,906	6,578,469
販売費及び一般管理費	5,470,221	5,309,865
営業利益	1,865,685	1,268,604
営業外収益	97,677	63,717
営業外費用	88,911	44,858
経常利益	1,874,451	1,287,464
特別利益	-	13,554
特別損失	8,574	996
税金等調整前当期純利益	1,865,877	1,300,022
法人税、住民税及び事業税	350,870	230,807
法人税等調整額	378,892	201,900
親会社株主に帰属する当期純利益	1,136,114	867,314

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前期(累計) 自平成27年4月1日 至平成28年3月31日	当期(累計) 自平成28年4月1日 至平成29年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,655,027	2,172,289
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,066,746	△ 277,268
財務活動によるキャッシュ・フロー	717,784	△ 1,382,225
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 548	△ 2,124
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 694,483	510,671
現金及び現金同等物の期首残高	2,055,433	1,360,950
現金及び現金同等物の期末残高	1,360,950	1,871,622

POINT

当期の連結損益は、メンテナンス事業における大型案件の減少、車輛事業における特殊車輛の納入が減少したこと等により、前期比2,878百万円の減収となり、親会社株主に帰属する当期純利益は同268百万円の減益となりました。